



横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

●地区名 霧の里地区

●団体名 霧の里 緑化推進隊

●計画名 霧の里 緑化整備計画



◎所在地：緑区霧が丘3丁目、5丁目

◎取組期間 3 年

◎協定締結期間

平成 27 ~ 29 年度

横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は... [横浜みどりアップ計画](#)

地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は... [地域緑のまちづくり事業](#)



地区の範囲図及び緑化実施場所

団体・地区の概要

これまで複合施設「霧の里」周辺の草刈や樹木の剪定などは、連合自治会を中心とした有志で活動を行っていましたが、本事業を活用し緑化を進めていくにあたり、霧の里緑化推進隊を設立しました。

複合施設「霧の里」は、横浜市内で初めて、再編統合された学校跡施設を活用した施設です。コミュニティハウス、スポーツ広場、地域ケアプラザの利用者は年間で約51,000人にのぼっており、インド系インターナショナルスクールには、約300名の生徒が在籍しています。

また、連合自治会は各種行事によるつながりづくりに力を入れており、その効果として地域ボランティアに関わる人の割合が区内の他の地域より高くなっています。

取組(計画)の概要

「集う・憩う」「育む」「広がる」の三つをテーマに緑化に取り組みます。

①「集う・憩う」

霧の里の敷地の未整備箇所を草木で鬱蒼としたプール跡地を霧の里ガーデンとして整備する。併せて、施設入口に至る通路の植栽を整理し、アンデスの乙女アベニューをつくり来館者を出迎える。

②「育む」

子ども達が実のなる木・草花・野菜の成長や収穫を体験する場として霧の里ガーデン・菜園を整備する。

③「広がる」

サポーターが育てた花・木の苗の配布や講座で作ったプランターを霧が丘商店街に展示・写真コンテストの開催、写真コンテストやパネル展等に取り組むことで、みどりアップを広げていく。



アンデスの乙女アベニューの緑化整備



設置したプランターの様子



グラウンド南側での緑化整備



「霧の里」周辺の赤道



霧の里ガーデンの緑化整備



みどりアップ通信

【問合せ】
横浜市環境創造局みどりアップ推進課
【TEL】045-671-3447
【FAX】045-224-6627
【Mail】ks-ryoka@city.yokohama.jp

主な取り組み実績

助成金額合計：14,086千円

民有地緑化

小学校のプール跡地にガーデンを整備

小学校のプール跡地に霧の里ガーデンを整備したほか、複合施設の入口へつながらず通路脇の植栽を整理することで、アンデスの乙女アベニューをつくり、来館者を迎えています。

また、地域住民の生活動線となっている通称赤道において、植栽の緑化やプランターの設置を行いました。

活動支援

みどりと花がある街 霧が丘を目指して

維持管理用の資材、備品、花苗などを購入したほか、霧が丘みどりアップ通信（広報紙）を作成し、本事業の整備前後の様子を地域にお知らせしました。引き続き、地域住民のみなさまや商店会等にもご協力をいただきながら、みどりと花がある街霧が丘を目指していきます。

3か年の取り組みを振り返って

この3年間の取組は、一部、安全面等を考慮して、移設せざるを得なかった整備もありましたが、概ね計画どおりに実行できました。その結果、赤道を通っている人や鬱蒼としていたイメージを持っていた住民からは、「あそこ綺麗になったんですね」といった声が聞かれ、活動の効果を実感することができました。

緑は維持管理をどうしていくかがポイントなので、地域住民と分担することなどを考えながら、継続して取り組んでいきたいと思っています。